

財団法人国際宗教研究所 平成25年度事業計画書

財団法人国際宗教研究所は、平成25年4月1日から公益財団法人に移行する予定である（現在は特例民法法人）。平成25年度は、今までの活動実績をふまえながら、国内外の宗教の研究・その振興、宗教情報の収集・分析、また、それらの成果を広く紹介することで、宗教相互の理解を深め、ひいては人類文化の向上を目的として、以下の公益事業を行う予定である。

1. 宗教情報リサーチセンター（RIRC）の運営

新聞や雑誌の宗教関連情報記事、教団記事・教団刊行物等、現代宗教に関する幅広い情報の収集、および研究・分析を行う。

簡単な調べ物などのほか、入会前の試験的利用にも活用できる一日利用制度を設けている。ホームページ上でも、宗教記事年表や宗教教団データベースなどの情報公開を行い、広く社会一般に公開している。

- ・国内の宗教情報のリサーチと提供
- ・海外の宗教情報のリサーチと提供
- ・インターネットによる情報提供の充実
- ・宗教問題に関するネットワーキング
- ・インターネットによる海外への宗教情報発信
- ・プロジェクトによる研究推進

2. 公開講座の開催

現代社会の諸問題をテーマに、諸宗教関係者、宗教学者、ジャーナリスト等を登壇者に迎え、宗教と社会のより良いあり方を議論とする場として、年に1回、公開シンポジウムを開催する。

東洋英和女学院大学・死生学研究所と「生と死」研究会を共催する。（平成25年度は10月5日（土）に「被災地での活動」をテーマとして開催予定）

3. 刊行物の発行・紹介

- (1) 『国際宗教研究所ニュースレター』の発行（2回）

※平成24年度までは年4回の発行であるが、25年度より年2回とし、カラー化・内容の充実を図る。

- (2) 『ラク便り』の発行（4回）
- (3) 『現代宗教』の編集・刊行（1回） 『現代宗教』2013特集：「3.11後を拓く」
- (4) その他

4. 国際宗教研究所賞の授与

今日的な問題意識に立つ宗教研究において優れた業績をあげた40歳未満の若手研究者を表彰する。（平成25年度は第9回となる。）応募は7月末日を締切とし、受賞者・受賞作・受賞理由は公開シンポジウム後に授賞式を開催して発表する。